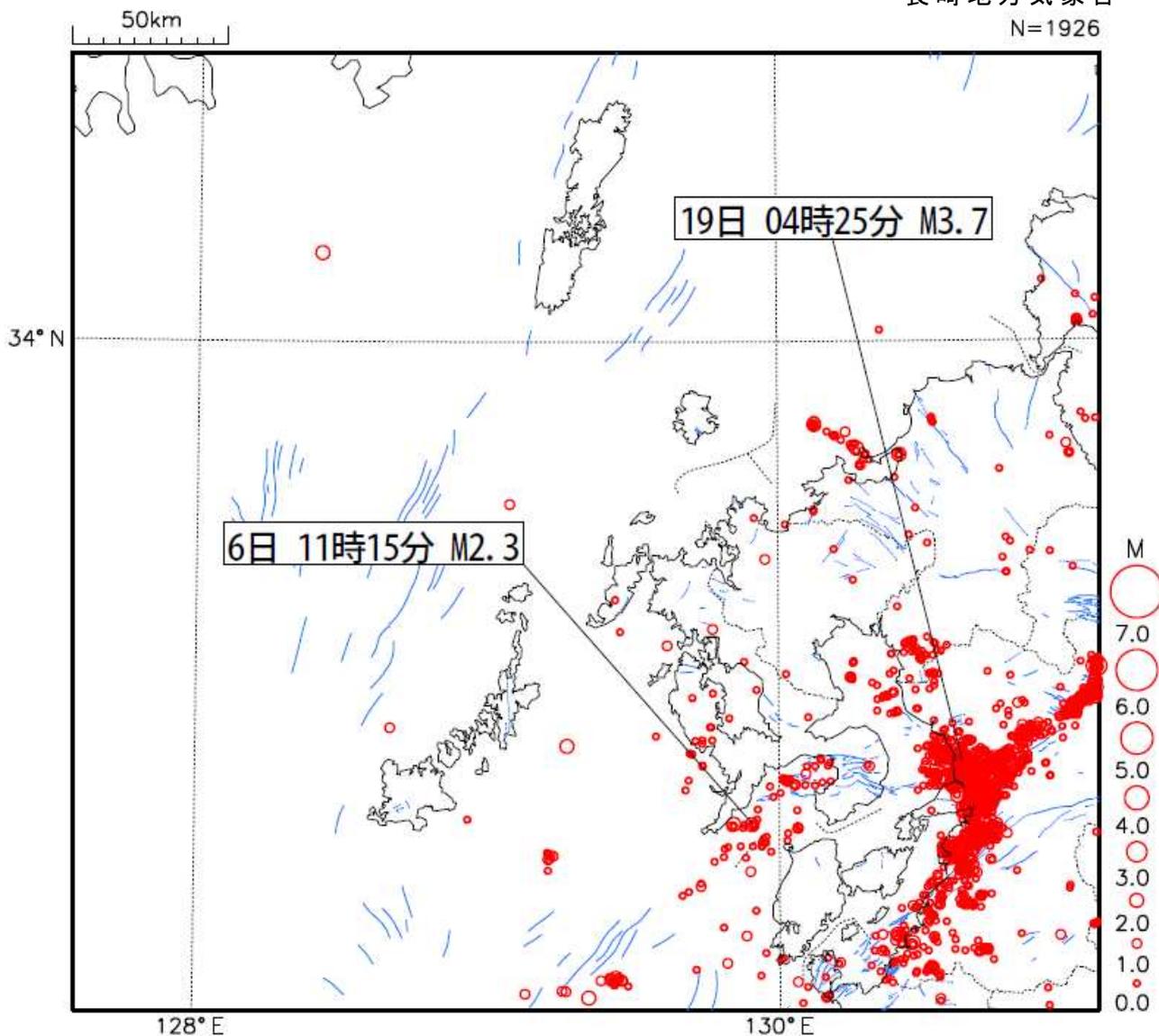


長崎県の地震活動概況 (2017年7月)

平成29年8月10日

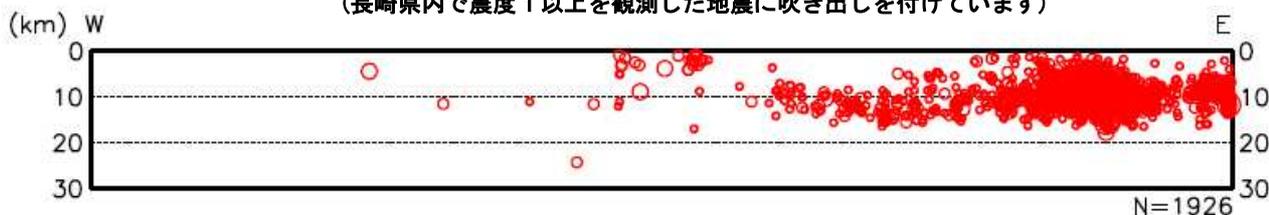
長崎地方気象台

N=1926



震央分布図 (2017年7月1日~31日、深さ30km以浅)

(長崎県内で震度1以上を観測した地震に吹き出しを付けています)



断面図 (2017年7月1日~31日、深さ30km以浅)

(震央分布図を南の方から見た断面図です)

※ 本資料の震央分布図の青色のラインは活断層を示す (活断層のデータは新編日本の活断層による)。
※ 本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点 (河原、熊野座)、米国大学間地震学研究連合 (IRIS) の観測点 (台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東) のデータを用いて作成している。

地震活動の概況（2017年7月）

7月に長崎県内で震度1以上を観測した地震は4回でした（6月：6回）。震央地名は熊本県阿蘇地方（1頁震央分布図領域外）、橘湾、鹿児島湾（1頁震央分布図領域外）、熊本県熊本地方でした。詳細は以下のとおりです。

平成28年（2016年）熊本地震

2日00時58分に熊本県阿蘇地方で発生したM4.5の地震（深さ11km）により、熊本県で震度5弱を観測したほか、九州地方および中国・四国地方で震度4～1を観測しました。長崎県では松浦市、諫早市、島原市、雲仙市、南島原市で震度1を観測しました（図1）。

また、19日04時25分に熊本県熊本地方で発生したM3.7の地震（深さ12km）により熊本県で震度3を観測したほか、熊本県、福岡県、佐賀県、長崎県、大分県で震度2～1を観測しました。長崎県では島原市、雲仙市、南島原市で震度1を観測しました（図2）。

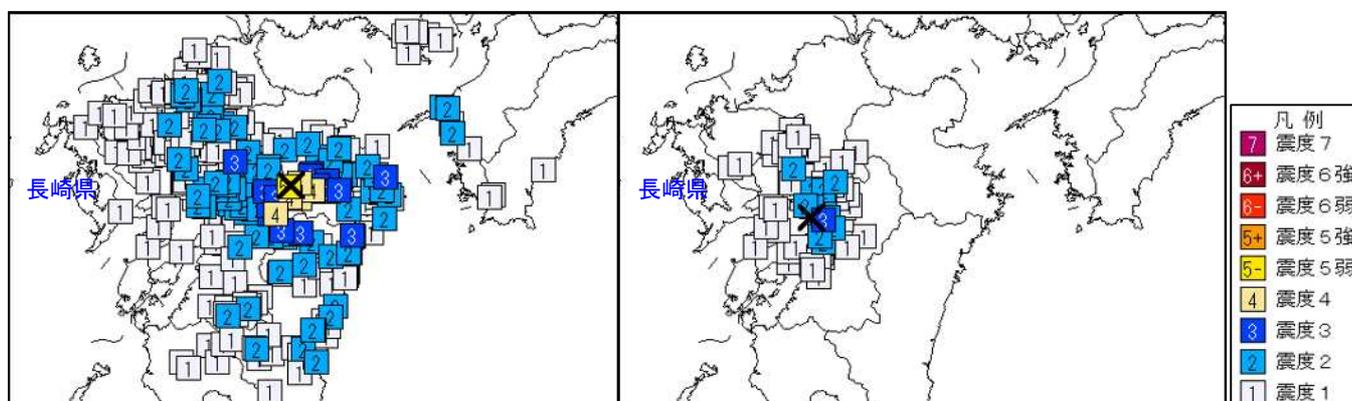


図1 震度分布図（観測点別、×：震央）

図2 震度分布図（観測点別、×：震央）

2日00時58分 M4.5

19日04時25分 M3.7

表1 これらの地震により長崎県内で震度1以上を観測した地点

No. 1	2017年07月02日00時58分 熊本県阿蘇地方 33° 00.2' N 131° 14.2' E 11km M4.5				
長崎県	1	松浦市志佐町＊, 諫早市多良見町＊, 島原市有明町＊, 雲仙市国見町, 雲仙市小浜町雲仙, 南島原市口之津町＊			
No. 4	2017年07月19日04時25分 熊本県熊本地方 32° 46.3' N 130° 37.7' E 12km M3.7				
長崎県	1	島原市有明町＊, 雲仙市国見町, 雲仙市小浜町雲仙, 南島原市口之津町＊, 南島原市深江町＊			

注1) 震源要素（緯度・経度・深さ・M）は、暫定値であり、データは後日変更されることがあります。

注2) ＊を付した地点は地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。

注3) No. は時系列順に付しています。

橘湾

6日11時15分に橘湾で発生したM2.3の地震（深さ12km）により、長崎県長崎市で震度1を観測しました（図3）。

今回の地震の震源付近（図4領域a）は、普段から地震活動がみられる領域で、長崎県内で震度1以上を観測したのは、2017年5月4日に天草灘で発生したM3.4の地震（深さ12km、最大震度2、長崎県は長崎市、諫早市、雲仙市、南島原市で震度1）以来です（図4、図5）。

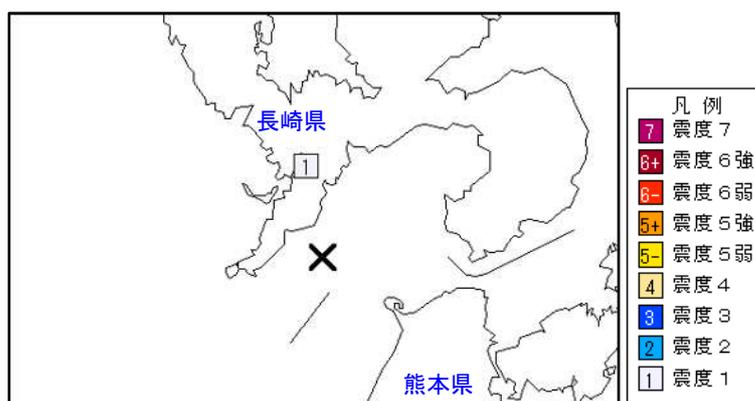


図3 震度分布図（観測点別、×：震央）
6日11時15分 M2.3

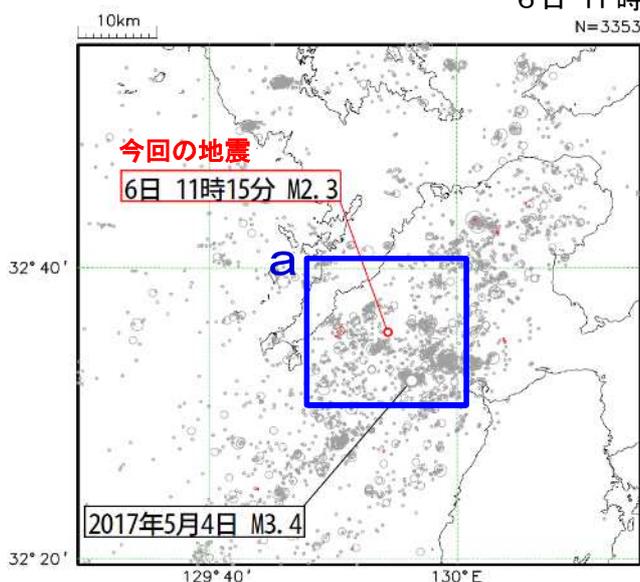


図4 震央分布図
(1997年10月1日～2017年7月31日
深さ0km～20km M≥1.0)
※2017年7月1日以降の地震を赤で表示

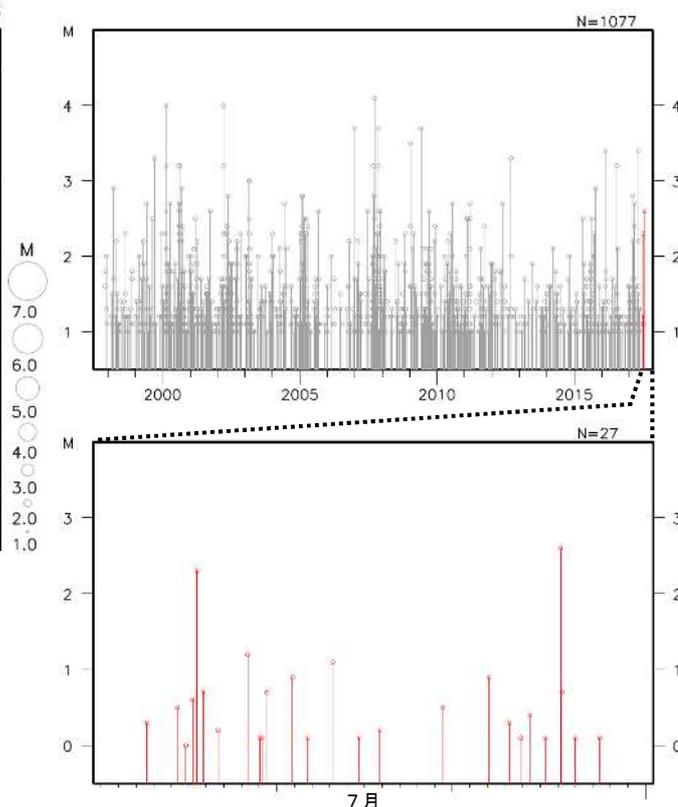


図5 図4領域a内の地震活動経過図
(上段：1997年10月1日～2017年7月31日、M≥1.0
下段：2017年7月1日～7月31日、M≥0.0)

表2 この地震により長崎県内で震度1以上を観測した地点

No. 2	2017年07月06日11時15分	橘湾	32° 35.6' N	129° 54.4' E	12km	M2.3
長崎県	1	長崎市元町*				

注4) 震源要素（緯度・経度・深さ・M）は、暫定値であり、データは後日変更されることがあります。
注5) *を付した地点は地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。

鹿児島湾（1頁震央分布図領域外）

11日11時56分に鹿児島湾で発生したM5.3の地震（深さ10km）により、鹿児島県で震度5強を観測したほか、鹿児島県、宮崎県、長崎県、熊本県、佐賀県で震度5弱～1を観測しました。長崎県では南島原市で震度2を、長崎市、諫早市、雲仙市で震度1を観測しました（図6）。

今回の地震の震源付近（図7領域b）で発生した地震により長崎県内で震度1以上を観測したのは、地方公共団体（長崎県）の震度データの活用を開始した2002年7月29日以降初めてです。

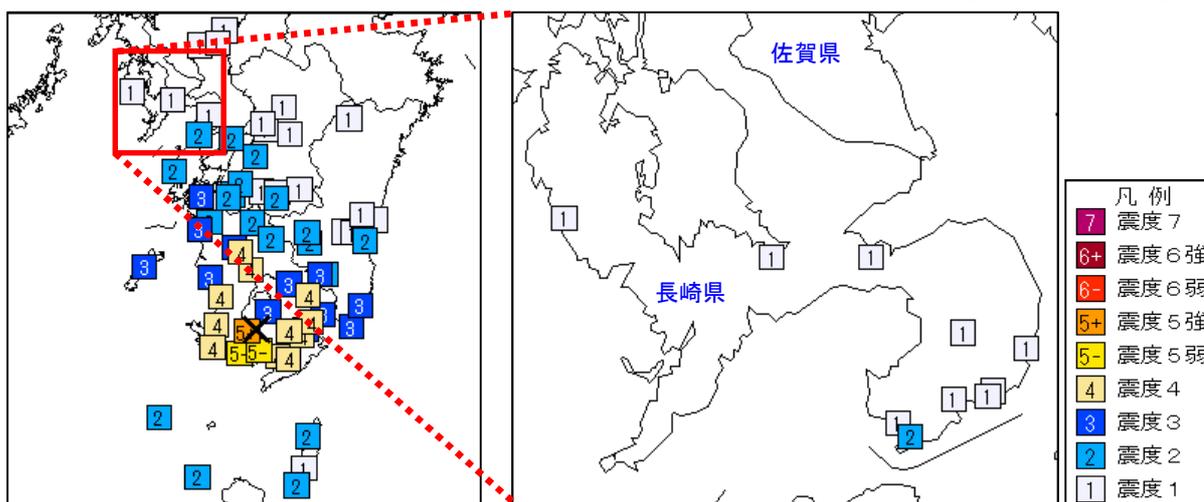


図6 震度分布図（左図は市区町村別、右図は観測点別、×：震央）
11日 11時56分 M5.3

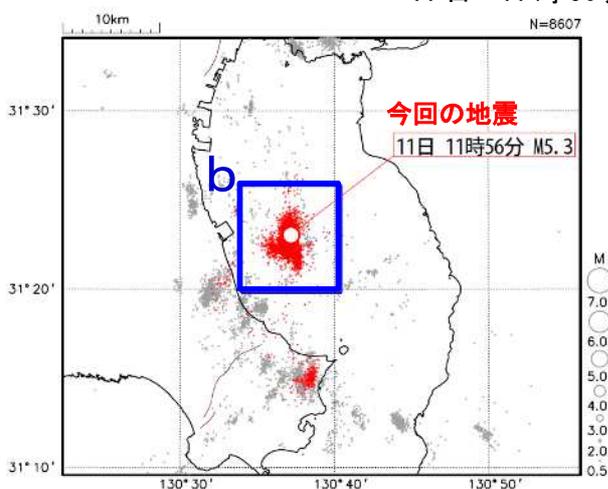


図7 震央分布図
(2000年10月1日～2017年7月31日
深さ0km～20km M≥0.5)
※2017年7月1日以降の地震を赤で表示

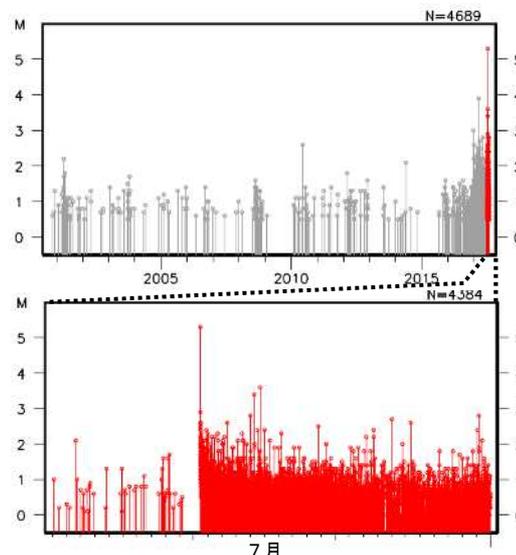


図8 図7領域b内の地震活動経過図
(上段：2000年10月1日～2017年7月31日 M≥0.5
下段：2017年7月1日～7月31日 M≥0.0)

表3 この地震により長崎県内で震度1以上を観測した地点

No.3	2017年07月11日11時56分 鹿児島湾		31° 23.0' N 130° 37.2' E	10km	M5.3
長崎県	2	南島原市口之津町*			
	1	長崎市神浦江川町*, 諫早市多良見町*, 諫早市森山町*, 雲仙市小浜町雲仙, 南島原市北有馬町*, 南島原市西有家町*, 南島原市深江町*, 南島原市加津佐町*, 南島原市有家町*			

注6) 震源要素（緯度・経度・深さ・M）は、暫定値であり、データは後日変更されることがあります。

注7) *を付した地点は地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。

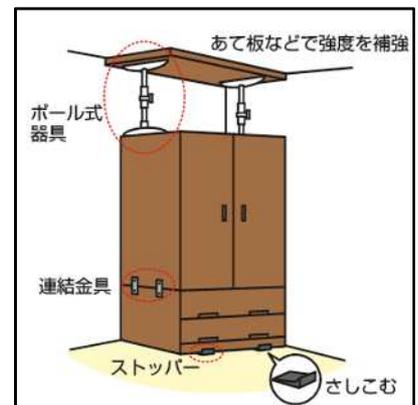
「防災の日」と「防災週間」

防災の日と防災週間は、政府、地方公共団体等防災関係諸機関をはじめ、広く国民が、地震、津波等の災害についての認識を深めるとともに、これに対する備えを充実強化することにより、災害の未然防止と被害の軽減に資するために設けられました。9月1日の防災の日を含む週を防災週間（毎年8月30日～9月5日）として、全国各地で大きな地震を想定した防災訓練や防災講演会などのイベントが開催されます。

九州では、「平成28年（2016年）熊本地震」の一連の地震活動が現在でも続いています。また、6月20日に豊後水道で発生したM5.0の地震、7月11日に鹿児島湾で発生したM5.3の地震により、大分県と鹿児島県で震度5強を観測しました。このように地震はどこでも発生する可能性があります。この機会にイベントに参加して、防災に対する意識を深め、日頃からの備えと大きな地震が起こった時のとるべき行動を確認しましょう。

○日頃からの備え

地震への備えは、『家具の固定や配置の見直し』、『水や食料・生活用品の備蓄』、『建物の耐震診断や耐震化』などがあります。近年の大きな地震の際は多くの人々が家具の転倒によりケガなどを行っています。右の図を参考に家具を固定しましょう。また、寝室に重い家具を置かないなどの配置にも気を配りましょう。大きな地震が発生した時は、電気・水道・ガスなどのライフラインが停止することがありますので、水や食料品などを備蓄しておきましょう。建物の耐震診断などは市町村の建築窓口へ相談しましょう。



みんなで減災（内閣府パンフレット）より

○とるべき行動

緊急地震速報を見聞きした場合や地震による強い揺れを感じた時の具体的な行動は周囲の状況によって異なります。日頃からいざという時の行動を考えておきましょう。



頭を保護し、丈夫な机の下など安全な場所に避難してください。
あわてて外に飛び出さないでください。
無理に火を消そうとしないでください。



施設の係員の指示に従ってください。
落ち着いて行動し、あわてて出口には走り出さないでください。

屋内にいる時の行動例（左の図：家庭 右の図：人が大勢いる施設）

その他の行動例や緊急地震速報については気象庁のホームページをご覧ください。

<http://www.data.jma.go.jp/svd/eew/data/nc/koudou/koudou.html>